

## 第一章 勝てる組織をつくる

- 01 「れば」や「たら」は敗者の言い訳だ 16  
 02 多様な個性を集めて化学反応を起こす 18  
 03 任せることで責任を自覚させる 20  
 04 まわりを「仲良しグループ」で固めない 22  
 05 安易な言い訳に逃げるな 24  
 06 自分のためではなく、大切な誰かのために 26  
 07 完璧な準備で想定外の事態を乗り越える 28  
 08 勝敗を左右するのは「心のつながり」だ 30  
 09 力の差があっても全力で立ち向かえ 32

## 第二章 リーダーに求められるもの

- 10 どんなときも平常心を忘れるな 36  
 11 リーダーはいつも「結果」で評価される 38  
 12 ダメだと気付いたらすぐに改めろ 40  
 13 理論を学びながらも野生のカンを磨け 42  
 14 成功者は常に敗北から学ぶ 44  
 15 先入観を捨てて予備知識を増やせ 46  
 16 コントロールできるものに集中しろ 48  
 17 リーダーが成長しなければ組織も成長しない 50  
 18 成功体験を捨てる勇気を持て 52  
 19 たとえ嫌われても信じたことをやれ 54  
 20 「もっといい方法」はないかと問い続ける 56

- 21 リーダーの本気が組織を奮い立たせる 58  
 22 幸運は全力でもがく人に微笑みかける 60  
 23 手持ちの切り札はすべて使え 62

## 第二章 全力で走り続ける

- 24 「他人」とではなく「昨日の自分」と比べよう 66  
 25 「なりたい」ではなく「なる」と決める 68  
 26 全力で動いて全力で失敗しろ 70  
 27 「いつでも全力」が幸運を引き寄せる 72  
 28 わずかなチャンスのために準備を怠るな 74  
 29 泣く暇があったら次の一步を踏み出せ 76  
 30 才能を出し尽くす努力を 78

- 31 伸びしろのある時期を逃すな 80  
 32 与えられた役割を全力でこなせ 82  
 33 まわりの状況に一喜一憂するな 84  
 34 敗北を明日への糧にしろ 86  
 35 できることはすべてやる覚悟を 88  
 36 発想の転換でしんどさがやりがいに変わる 90  
 37 自分の置かれた境遇を悔やむな 92

## 第四章 夢をあきらめぬ

- 38 努力し続けてこそ夢は正夢になる 96  
 39 人に伝染するほどの熱意を持ち続ける 98  
 40 理想と現実との差を知ってもなお挑戦する 100

- 41 自分を信じる気持ちを強く持とう 102  
 42 「無理」という言葉は努力で跳ね返せ 104  
 43 「なぜ自分だけが」と考えない 106  
 44 挫折こそが成長のエンジンになる 108  
 45 可能性がゼロでないならあきらめな 110  
 46 未来が鮮明に見えるまで考え抜け 112

## 第五章 人を信じ続ける

- 47 人の持つ無限の可能性を信じる 116  
 48 大切なのは「結果」以上に「最善を尽くす」こと 118  
 49 祈るのではなく、信じろ 120  
 50 信じなければ人は育たない 122

- 51 挫折は成長の養分となる 124  
 52 「選手のせい」にする指導者は二流 126  
 53 1人ひとりの可能性を信じる 128  
 54 「どうすれば伸びるか」を考える 130  
 55 「寄り」と「引き」のバランスで人を育てる 132  
 56 批判する側ではなく批判される側であれ 134  
 57 逆境でこそ人を信じる 136

## 第六章 生き方の指針をつくる

- 58 身の回りの整理が勝敗を左右する 140  
 59 見方を変えればマイナスもプラスになる 142  
 60 正解がないからこそ面白い 144

- 61 全身全霊の誠意が人を動かす 146
- 62 人間関係に甘えてはいけない 148
- 63 悔しくても道具には当たらない 150
- 64 良いことは部下に任せ、嫌なことこそ率先して引き受けろ
- 65 話を聞くとときは全力で耳を傾けろ 154
- 66 「挨拶がない」と怒るくらいなら自分から挨拶すればいい 156
- 67 力を持つ者には相応の責任と義務がある 158
- 68 「できるか、できないか」ではなく、行動する 160
- 69 リーダーに求められるのは責任を果たすこと 162
- 70 ルール違反を罰金ですませるな 164
- 71 与えられた環境を最善のものに 166
- 72 自分との約束は絶対に守れ 168

## 第七章 野球界の未来のために

- 73 先人の思いを受け継ぐ 172
- 74 支えてくれる人への感謝を忘れるな 174
- 75 子どもたちのために何ができるかを考える 176
- 76 観客の心に残る試合をしよう 178
- 77 勝つだけではなく、愛されてこそプロである 180
- 78 常識を疑えば新しいものが生まれる 182
- 79 子どもたちに希望の言葉をかけよう 184
- 80 敵も「仲間」だと考える 186